腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術 （当日） 入院診療計画書（患者様用）

患者氏名　　様　　病室:　　号　　特別な栄養管理の必要性　☐有　☐無

病　名	
症　状	
手　術	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術
推定入院期間	3-4日間

主治医:　　在宅復帰支援担当者名:

看護師:　　在宅復帰支援計画:必要時、立案いたします

*この入院診療計画書について、医師・看護師から説明を受け、ご理解されましたら、署名をお願いします。

患者署名:

記入者（続柄）:

*本人記載が困難な場合”記入者”の欄の記載をお願いします

月日 暦日	入院～手術前	手術後	術後1日目	術後3～4日目（退院）
達成目標	1. 手術の概要、入院中のスケジュールが理解できる 2. 手術前の不安や疑問を伝えることができ、手術に向けて心身ともに準備が整う 3. 疾患や手術に対して理解できる	1. 手術後の全身状態が安定している 2. 痛みがある時に伝えることができる 3. 創部からの出血がない 	1. 痛みがある時に伝えることができる 2. 創部から出血がない 3. 創部に発赤・腫脹がない 4. 鼠径部の膨隆や腫脹がない 5. 飲水・食事を開始できる 6. 退院後の生活について理解できる	【退院基準】 1. 痛みのコントロールができる 2. 創部に発赤・腫脹がない 3. 鼠径部の膨隆や腫脹がない 4. 退院後の生活について理解できる
治　療	○飲んでいるお薬がありましたら看護師までお知らせください ○入院後より指示されたジュースを服用します ○入院後に病棟で点滴を開始します（左上肢） ○手術室に行く前に術衣に着替えます ○弾性ストッキングをはきます 手術室へ歩行か車椅子で入室します 	○手術室より尿管が留置されています ○深部静脈血栓症予防のため両足に血栓を予防する機械を装着しています ○病室で酸素マスク、心電図モニター、血圧計を装着します	○医師の許可がでたら酸素マスクや心電図モニター、血圧計を除去します ○点滴を終了します ○血栓を予防する機械と弾性ストッキングを外します ○尿管を抜去します ○内服開始となります ※医師の許可を確認してからになります	○次回外来日のお知らせをします ○次回外来時、医師にて創部の観察をします
検　査	○身長・体重の測定をします		○朝に採血があります	
看護計画　食　事	○朝食より絶食です 飲水は手術開始予定時刻の2時間前までとなります		○許可があれば朝から飲水・食事（常食）を開始します 	
看護計画　活　動	○病院内歩行可（行き先は看護師に教えてください）	○ベッド上安静	○病棟内歩行可	
看護計画　清　潔	○臍の処置を行います		○清拭（看護師が手伝います） ○病衣の交換	○手術後2日目以降よりシャワー浴が可能です
指　導 説　明	○入院時のオリエンテーションを行います ○主治医から手術・治療の説明があります （入院診療計画書、手術・麻酔・輸血の同意書） ○手術室の看護師の訪問があります ○手術のパンフレットを使用して手術の注意点について説明します ○手術の必要物品の確認をします ○各種同意書の提出をお願いします	○痛みが強いときは我慢せずに教えてください ○深部静脈血栓予防のために、ベッド上で足を曲げたり伸ばしたり、足首を動かしてください （ご自分でできないときは看護師が手伝います）	○少しずつ体を動かしてください ○看護師が付き添いますので、少しずつ歩いてください ○痛みが強いときは我慢せずに教えてください ○鎮痛剤（カロナール500mg）が処方されますので1日3回　毎食後に服用してください	○退院指導を行います ・おなかに力のかかる運動や力仕事を控えれば日常生活は今まで通りでかまいません ・長時間の正座・立ち仕事・頻繁な階段の昇降は避けましょう ○傷口が赤くなった、高熱が出た、足の付け根が腫れたなどの場合は病院に連絡し医師の指示に従ってください ○退院後の生活について聞きたいことがありましたら、いつでも看護師に声をおかけください
観　察	○痛みや吐き気など気になることは遠慮なくお知らせください ○入院時に栄養評価を行い、必要な方には栄養指導を計画します 	○看護師が以下のことを確認します ・血圧、体温 ・創部の発赤や腫張 ・痛みの程度 ・鼠径部の膨隆や腫張 ・息苦しさや肺の音 ・両足の皮膚の色、痛み、しびれ感むくみの有無 ・お腹の音やお腹の張り	○看護師が以下のことを観察します（6・10・20時） ・血圧、体温 ・創部の発赤や腫張 ・痛みの程度 ・鼠径部の膨隆や腫張 ・息苦しさや肺の音 ・食事摂取・排便状況 ・お腹の音やお腹の張り ○最初にベッドから離れるときは看護師が付き添います ○歩行時にめまい、ふらつき、冷や汗、胸部痛、気分不良、息苦しさがないかお尋ねします	○看護師が以下のことを観察します（10時） ・血圧、体温 ・創部の発赤や腫張 ・痛みの程度 ・鼠径部の膨隆や腫張 ・食事摂取・排便状況 ・お腹の音やお腹の張り

注1）入院後の検査・治療・看護などは大体このスケジュール表通りに行われることになります。ただし、年齢や合併症の有無、その他の理由で個人差が出てきますので予定通りにならないことがあります。
ご自分のペースに合わせ、この予定表を目安に、主治医・担当医・主治看護師などと相談しながら検査や治療を受けられてください。

注2）入院期間については、現時点で予想されるものです。

伊万里有田共立病院

2020年7月作成